

挑戦

第 18 号

令和 5 年 12 月 27 日

札幌大谷大学硬式野球部

新チーム始動

秋季リーグ戦で4年生が引退し、新チームが始動しました。新チームのキャプテンは大見晨藍選手（地域社会学科3年）、副キャプテンは中川諒選手（地域社会学科3年）、石鳥颯選手（地域社会学科2年）、三崎凌大選手（地域社会学科1年）の3名に決定しました。大見キャプテン率いる新チームでは、「ノリ、勢い、集中、規律」をテーマに日々取り組んでいます。

学生スタッフ含め32名と人数は少ないですが、来春に行われるリーグ戦で優勝し、全国大会に進むため日々努力し、成長できるよう頑張ります。

秋季トーナメント戦

秋季入替戦から一息つく間もなく秋季トーナメント戦が10月8日に開幕しました。初戦は札幌学院大学と対戦し、3-7で敗戦しました。春季トーナメント戦と同様に、秋季リーグ戦で出場機会の少なかった選手が中心となり試合に臨みました。初戦敗退という大変悔しい結果に終わりましたが、オフシーズンに向けてチーム全体、そして個人の課題を見つけることができました。

また今大会をもち、今季の公式戦は全て終了しました。

4年ぶりの納会

2019年を最後に、新型コロナの制限もあって、ここ数年は納会ではなく4年生の引退試合を行なっていました。今年はコロナ禍の収束と4年生の希望もあり、11月26日に4年ぶりとなる納会を開催しました。

大見晨藍新キャプテン（地域社会学科3年）が乾杯の音頭をとり、各々1年間に振り返りながらも、3,4年生は就職活動の話をするなど、幅広い話題で大いに盛り上がりました。球場外で部員・スタッフ含めチーム全員が集まる機会は少ないですが、今年1年のチームと個人の労をねぎらうと同時に、引退した4年生を送り出す良い時間となりました。

締め挨拶は、飯田柊哉前キャプテン（地域社会学科4年）より、1年間の感謝と新チーム及び後輩達への激励の言葉をもらい、札幌大谷大学硬式野球部の2023年度を締め括りました。



(納会後の記念写真)

2023年総括

2023年シーズンに終わりを迎えました。春季リーグ戦は3勝7敗で順位決定戦の勝利により5位、秋季リーグ戦は、一時優勝争いに食い込むも大混戦の末、最下位となりました。札幌国際大学との入替戦は、2勝1敗で1部リーグ残留を決めるなど、どこを切り取っても追い込まれているような状況でした。しかし、秋季リーグ戦では、1部リーグ昇格後初となる4勝を挙げ、4年生を中心に本学野球部の歴史を一つ塗り替えました。

今年のスローガンであった「自勝～甘えは敵～」を胸に、「ノリと勢いと集中」を鍵としていたチームが最後の最後まで諦めずに戦った結果、来春も1部リーグで戦うチャンスを繋いでくれました。来春こそチームの目標である全国大会に出場して勝てるチームとなれるよう日々精進します。

日頃より応援して下さる保護者の皆さま、学校関係者、本学野球部OB・OGの皆さまにおかれましては、今年も多くの皆さまに球場へ足を運んでいただき、たくさんのご支援と熱いご声援に心より感謝申し上げます。来年も札幌大谷大学硬式野球部の応援をよろしくお願いいたします。

今後の予定

- ・ 12月12日～1月31日 自主トレーニング期間、アルバイト期間
- ・ 2月1日～ 全体練習再開
- ・ 3月15日～3月22日 宮崎合宿（高鍋町）